

日本経済新聞

8月20日

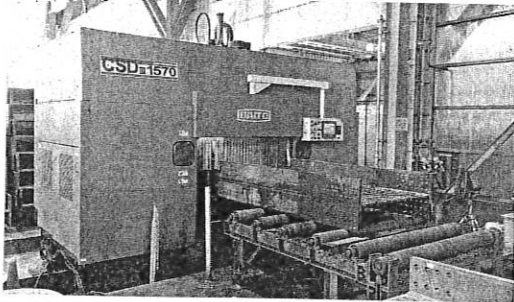
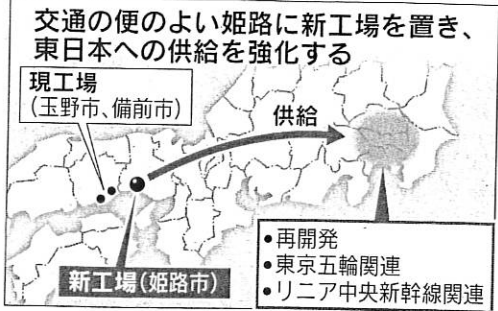
木曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 電話(03)3270-0251
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 電話(06)7639-7111
 名古屋支社 電話(052)243-3311
 西部支社 電話(092)473-3300
 札幌支社 電話(011)281-3211

姫路に鋼材加工工場

岡山県内に生産拠点を置く鋼材メーカーの桂スチール(兵庫県姫路市)は約4億円で姫路市に工場を新設する。岡山の工場から一部設備を移す。同社は鋼板を溶接してつくる「溶接H形鋼」を手掛けており、高層ビルなどに使われる。2020年の東京五輪や首都圏の再開発ラッシュに伴う建材需要の高まりを受けて、工場を新設することにした。

桂スチール 建材向け強化



五輪・リニア需要狙う

新たに他社から姫路市北部の機械加工工場を譲り受けた。約4万平方メートルの敷地に延べ床面積1万5千平方メートルの建屋があり、一部を加工拠点到整備する。重い鋼材を持ち上げるクレーンなどがすでに設置されている。岡山から加工用機械を搬入すれば今秋にも生産体制が整うという。

山陽自動車道と中国自動車道をつなぐ播但連絡有料道路に隣接しており、原料の搬入や製品の搬出もしやすい。新規雇用を含め、15人程度が従事する見通しだ。

長さを整える切断や穴開けといった加工はこれ

切断や穴開けなど加工工程を内製化し、利益率を高める

まで岡山県備前市や同県玉野市の工場を手掛けていた。溶接H形鋼を年8万ト程度生産する一方で、自社加工は5万トにとどまる。3万トは他社に加工を委託している。

1万5千ト程度の加工が可能になるといい、加工の内製化で利益率を高められるという。

溶接H形鋼は高層ビルや物流施設といった強度が必要な建築物で構造物として使われている。首都圏を中心に再開発

やマンション・物流施設の建設ラッシュで需要が増加している。さらに東京五輪や、リニア中央新幹線の新設に伴い需要がさらに増える見込みだ。

桂スチールは岡山県内に6つの工場を持つほ

か、備前市に営業本部を置く。溶接H形鋼では約4割の国内シェアを持つ。金属加工のほか、メカソーラー(大規模太陽光発電所)の設置にも注力している。2015年9月期の売上高は約140億円の見込み。